

夏休みも終わりますね。新学期に向けて、目標を立てて、はりきってスタートしましょう。

子供は、みんなすばらしい才能をもっています。一人ひとりの内に無限が宿っています。

なでしこ寺子屋では、古事記や論語等、古典を素読朗誦します。素読とは、意味の解釈をせずにそのまま繰り返し声に出して読むことです。意味もわからず頭の中に蓄積していくことで右脳が働くのです。美しい言葉や偉人の生き方が、言葉のリズムと共に子供たちの心に刻まれ、後に独創性や創造性を生み出すことにつながると言われています。繰り返し読んで、暗唱したいものです。

【お茶の心ってなんだろう】

四規「和敬清寂」この四つの文字の中には、全てのお茶の心がこめられているといわれています。「和」とは、お互いに心を開いて仲良く

するということです。



「敬」とは、尊敬の敬で、お互いに敬いあうという意味です。

「清」とは、清らかという意味ですが、目に見えるだけの清らかさではなく、心の中も清らかであるということです。

「寂」とは、どんなときにも動じない心です。

利休七則

「茶は服のよきように、炭は湯の沸くように、夏は涼しく冬は暖かに、花は野にあるように、刻限は早

めに、降らずとも雨の用意、相客に心せよ。」
茶は服のよきように 一心をこめる



「お茶は心をこめて、おいしく点てましょう」という意味です。「服のよきように」というのは、舌の先でおいしいと感じることだけでなく、一生懸命に点てたお茶を客がその気持ちも味わっていたかどうか、主と客との心の一体感を意味しています。

炭は湯の沸くように 一本質を見極める

炭に火をつけさえすれば必ずお湯がわくとはいりません。湯がよくわくように火をおこすには、上手な炭のつぎ方があり本質をよく見極めることが大切です。

夏は涼しく、冬は暖かに 季節感をもつ

茶道では季節感を大事にし、表現します。

花は野にあるように 一のちを尊ぶ

「花は自然に入れなさい」ということですが、「自然そのままに」再現するということではなく、一輪の花に、野に咲く花の美しさと自然から与えられたいのちの尊さを盛りこもうとすることに真の意味があります。

刻限は早めに 一心にゆとりを持つ

「時間はゆとりを持って早めに」ということですが、ゆとりとは時間を尊重することです。自分がゆつたりした気持ちになるだけでなく、相手の時間を大切にすることもなります。

降らずとも雨の用意 やわらかい心を持つ

「どんなときにも落ちついて行動できる心の準備と実際の用意をいつもすること」が茶道をする人の心がけであることをいおうとしています。どんなときにも「適切に場に応じられる」自由で素直な心を

持つことが大切です。

相客に心せよ 一たがいに尊重しあう

「相客」というのは、いっしょに客になった人たちのことです。正客座にすわっている人も末客の席にいる人も、おたがいを尊重しあい、楽しいひとときを過ごすようにしなさいと利休は説いています。このような茶の心を、学校や家庭での生活に生かしたいものですね。

「わが子よ ありがとう」



- 一、あなたが 生まれて来たことが
ただ ありがたく うれしくて
ママはネ あなたが好きでたまらない
- 二、あなたが 丈夫で起きて来る
ただ そのことが うれしくて
ママはネ あなたが好きでたまらない
- 三、あなたの 寝顔をみていると
ただ そのままが とうとくて
ママはネ あなたが好きでたまらない
- 四、あなたは わたしの鏡です
いつも くもらずに すみ切って
ママはネ あなたが好きでたまらない



みんなみんな せみがみんなで ないてるよ
げんきいっぱい たのしそう

年中 O・S

☆せみはみんなでにぎやかにいますね。どん
なせみをみつけたかな。

なつやすみ なごやのプールに はいったよ

おかあさんと たくとはるでいったんだ

年中 O・M

☆かぞくでプールに行って楽しかったですね。

なつやすみ みんなでプールに はいったよ

ぼくはおよぐの とてもだいすき

小学一年 O・T

☆たくみくんはおよぐのがとくいなんですね。

てらこやで みんなでつくった まんげきよう

くるくるまわすと きれいだったよ

小学一年 M・k

☆万華鏡を作ったのしかったですね。とうめいの
板なのに、万華鏡の中に入れたらいろんな色に変身
しましたね。ふしぎ、ふしぎ。

夏休み りょこうに行くよ 楽しみだ

早くみんなで 行ってみたいな

夏休み しゅくだいがね いっぱいだ

しんどいけれど がんばっている

小学二年 J・R

☆夏休みにかぞくでりょこうに行くのですね。
楽しみですね。

まんげきよう みんなでつくった

きれいだな くるくるまわすと もようがかわる

小学一年 O・R

☆じょうずにつくれてよかったですね。もようがい
ろいろかわるから、おもしろいし、きれいですね。

なつやすみ 友だちのいえで 入ったよ

ビニールプール たのしかった

小学三年 Y・T

☆友だちといっしょにビニールプールに
入ったのね。えがおが目にかんできます。

なつやすみ きょうは花火だ はまで見る

たのしみだなあ 花火をみるとき

小学四年 Y・H

☆はまで見る花火、楽しみですね。どんな花火が上
がるかなあ。

せみのこえ せみのトンネル にぎやかだ

なつのていばん 大がっしょう

小学四年 M・A

☆せみの大合唱がきけるのも夏の短い間だけです

今月の論語

子曰く

「君子は

泰かにして驕らず。

小人は

驕りて泰かならず。」

(現代語訳)

孔子先生がおっしゃった。

「君子は、ゆったりと落ち着いていて、おごり

高ぶらないが、小人は、反対におごり高ぶっ

ていて、ゆったりとした落ち着きがない。」

(解説)

君子は自分が行うべきことを知っていて、

それを真剣に行ないます。だからいつも心は

穏やかで、いばったところもありません。

小人は落ち着きがなく、すぐにいばってし

まいます。やはり君子のほうが素敵ですね。

こんなふうになりたいですね。

「親子で楽しむ こども論語塾」(明治書院)より

次回は 九月二十四日(土)です。絵本作家がお話に
来てくださいます。お楽しみに！ (文責・藤波)